

本誌 Vol.4, No.3 に掲載された論文著者の

石黒満久氏が

第 62 回電気科学技術奨励賞を受賞されました

さる 2014 年 11 月 21 日、東京・学士会館にて第 62 回電気科学技術奨励賞（旧オーム技術賞）の受賞式が開かれ、石黒満久氏（(株) NTT データ）、松本武浩氏（長崎大学）、柴田真吾氏（大村市立市民病院）が「地域医療連携プラットフォームの構築と実用化」のテーマで表彰されました。電気科学技術奨励賞は、日本の技術立国を担う特に電気科学技術の研究者・技術者への啓発を期待しその功労者に贈られるものです。1952 年に創設され、今年 62 周年を迎える大変権威のある賞です。

三氏のうち、石黒氏は、デジタルプラクティス Vol.4, No.3（2013 年 7 月）に掲載された「地域医療連携ネットワークの構築と運用継続性の追求ー長崎：あじさいネットを事例とした社会基盤サービスの構築ー」の執筆者であり、この論文はこのたび電気科学技術奨励賞を受賞されたテーマをさらに深く知るのに絶好の資料となっております。石黒氏が構築と運用を主導した長崎県の「あじさいネット」では、国が定めた医療情報を扱う各種ガイドラインに準拠した高度なセキュアネットワークが構築され、地域基幹病院の患者情報が国内で初めてベンダ枠を超えて院外の医療関係者と共有された点が高く評価されました。こうして 2004 年に長崎県大村市から始まったあじさいネットは、2013 年には登録患者 2 万 6 千名超、17 基幹病院、178 情報閲覧施設等を擁する県域をカバーする地域医療連携ネットワークに成長し、現在補助金に頼らない自立運営にまでいたりました。そのあじさいネットでのプラクティスが当該論文で述べられていますので、皆様どうぞご覧ください。

石黒、松本、柴田の三氏にお慶び申し上げるとともに、今後ますますのご活躍を期待したいと思います。



授賞式での石黒氏ご夫妻

論文は以下からご覧いただけます。

https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/?action=repository_uri&item_id=94251